

【静岡市】

世界文化遺産「富士山」の構成資産「三保松原」の文化的価値を世界に発信！

教 観

静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」見学可

所在地 静岡市清水区三保1338-45
竣工年 2019 年
建築面積 824.5 m² 延床面積 1,143.73 m²
構造/階数 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造/地上2階
詳細URL <https://miho-no-matsubara.jp/center>

ユニバーサルデザイン	まちづくり	木材活用
		環境配慮

備考

施設の特徴・コンセプト

世界文化遺産「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産『三保松原』の本質的価値を世界に発信し、松原を保全する拠点施設として整備されました。神の道、羽衣の松、松原を繋ぐ回遊性に配慮し、広場側には縁側風の足湯に通じる木質感のある「通り土間」が設けられています。正面のガラスカーテンウォールは、松原が映りこむことで広場側から見ると松原の中にいるような錯覚を覚え、中からも窓の外に松原の眺めが楽しめます。



外観（東南面）



内観（通り土間）



内観（1階展示室）